

令和5年第2回燕市議会定例会
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
6月15日(木)	午前	1	高橋 妙子 議員		○	
	午後	2	大島 靖浩 議員		○	
		3	近藤 隆行 議員		○	
		4	藤井 秀人 議員		○	
		5	齋藤 和也 議員		○	
16日(金)	午前	6	小林 由明 議員		○	
		7	渡邊 雄三 議員		○	
	午後	8	田澤 信行 議員		○	
		9	長井由喜雄 議員		○	
		10	小林 秋光 議員		○	
19日(月)	午前	11	土田 昇 議員		○	
		12	稲村 隆行 議員		○	
	午後	13	佐野 大輔 議員		○	
		14	岡山 秀義 議員		○	
		15	タナカ・キン 議員		○	
		16	田中 淑子 議員		○	

令和5年第2回燕市議会定例会「一般質問表」

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
1	高橋 妙子 (一問一 答方式)	1. 大規模災害発生時の 支援体制について	(1)災害備蓄について	<p>災害時の備蓄品として、市での備蓄品、避難所での備蓄品があります。そして、緊急支援物資調達に關しての協定を市内の事業所と締結して、食料品などを確保する流通備蓄があります。</p> <p>流通備蓄は被災状況やニーズに応じて協定企業に依頼し、それによって輸送や運搬により、非常時に敏速に支援を受けることができます。</p> <p>また、確保している品目などの明確化や、災害対策物資購入経費の削減が出来ることもメリットとしてあげられます。</p> <p>①今現在、どのような企業と協定を結んでいるか伺います。</p> <p>②支援物資として求める品目について伺います。</p>
			(2)災害時における非常用 トイレについて	<p>災害時に水洗トイレが使用できなくなることを想定し、簡易トイレや携帯トイレを備蓄しておくことは重要です。</p> <p>①避難所における簡易トイレ及び携帯トイレの備蓄の現状について伺います。</p> <p>②避難所及び各家庭で簡易トイレ、携帯トイレを使用後、ゴミ回収までの間、処理としてはどのような手順になるのか伺います。</p>
			(3)災害時の廃棄物処理体制と災害廃棄物処理計画の策定及び内容について	<p>燕市地域防災計画の廃棄物処理体制の整備に關して計画の方針として、市は震災時を想定したゴミ及びし尿の災害廃棄物処理計画を策定するとともに、平常時から市民に対し、協力を求める事項について周知する。</p> <p>また、ゴミの排出方法等、市民への協力を求める事項について周知を図るとともに防災計画等に際して啓発につとめるとあります。</p> <p>災害によって発生する廃棄物は適正に処理されることが必要ですが、分別の仕方など処理に關して様々な課題があると認識しています。</p> <p>本市で災害が起きた時に、どのような廃棄物が発生し、その中でも処理に困るものは何なのか、日頃から考えておくことも必要です。</p> <p>災害廃棄物処理計画策定に關しましても廃棄物量の推計や、仮置き場の設置などの項目、それらに關する課題は多岐にわたると思います。</p> <p>①災害廃棄物処理計画は策定されているのか伺います。</p> <p>②本計画が災害時に有効に活用されるよう、記載内容を職員に周知する。</p> <p>また、災害時に速やかに行動できるよう教育、訓練を定期的実施するとあるが、職員への周知、訓練は実施されているのか伺います。</p> <p>③災害廃棄物の仮置き場は確保されているのか伺います。</p> <p>④集められた廃棄物は、どのように処理されるのか伺います。</p> <p>⑤災害廃棄物処理計画に關して市民への周知、啓発はなされているのか伺います。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
2	大島 靖浩 (一問一答方式)	1.「燕市男女共同参画基本計画」:第3次燕市男女共同参画推進プラン(平成29年3月)に係る行政評価上の現状と対策について	(1)女性の人権を尊重する意識の向上について	①女性に対する偏見等による「固定的性別役割分担意識」の定義について伺う。
			(2)女性の人権を無視した行為の根絶に向けた啓発について	①パートナーからの暴力、セクシャルハラスメントやストーカー行為など女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けた啓発の内容について伺う。 ②DV被害経験のある者のうち、DV被害を相談した者の割合を本年度は40.0%を目標値としているが、最新値を伺う。 ③加害者に対する啓発活動はあったか伺う。
			(3)あらゆる分野における男女共同参画の推進について	①男女共同参画社会の形成のためには、家庭や職場、地域社会をはじめ、あらゆる分野に女性が男性と対等なパートナーとして積極的に参画していく必要があるとしている。あらゆる分野とは何を定義しているのか伺う。 ②各種審議会等における女性委員の割合を本年度は36.0%を目標値としているが最新値を伺う。
			(4)男女の均等な雇用機会と待遇の確保について	①男性に比べ、女性はパートタイムなど非正規雇用の割合が高いとされているが、非正規雇用の割合について伺う。 ②「第3次燕市男女共同参画推進プラン 基本方針3男女が共に働きやすい環境づくり」の文中において「女性の人材育成や登用、女性が働きやすい職場環境、育児休暇を取得しやすい整備等について啓発し」とあるが、具体的にどのような取り組みであったか伺う。
			(5)燕市役所の女性職員への取り組み及び男性育児休業の取得状況について	①本市役所に勤務する女性職員の働きやすい職場環境として、特別な措置が施された環境の有無について伺う。 ②女性職員のうち管理職として登用を希望する者の研修制度や各部門の配置年限についての配慮はあるか伺う(キャリアパス)。 ③男性職員育児休業については、令和元年まではほぼゼロの状態であったが令和2年度以降の対象者と取得者数、割合及び取得日数について伺う。
			(6)DVの子供に対する被害の予防に係る取り組みについて	①本年3月29日会派視察において、福井大学子どもこころの発達研究センター長である友田明美教授の講義から「虐待等の不適切な養育は子供の脳へ悪影響を及ぼすとし、DVを見聞きしたことにより、視覚野の容積が6.1%減少する。」との研究結果の報告を受けた。その予防策として「とも育て(協働子育て)」が必要であるとし、子育ては親や家族だけではありません。子供を取り巻く環境(両親の家族、保健所保健センター、児童相談所、仕事、仲間、近所、社会、学校、幼稚園・保育園)による全ての大人が支援することが重要であるとしていた。 については、本市における子育て環境の充実強化策について伺う。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	近藤 隆行 (一問一答方式)	1. 子育て支援について	(1) 「にいがたりトルベビーハンドブック」について	<p>①低出生体重児(リトルベビー)を出産したお母さんや、そのご家族の不安軽減のため、今年度から「にいがたりトルベビーハンドブック」の配布が始まりました。配布条件に出生体重1,500g未滿、または在胎週数32週未滿とあるが、そのようなリトルベビーを市では把握しているか伺います。</p> <p>②現状、市のホームページ等での「にいがたりトルベビーハンドブック」告知は見当たらないが、今後どのように周知していくか伺います。</p> <p>③「にいがたりトルベビーハンドブック」の最後に、アンケートの協力を促しているが、そのアンケート結果を県と共有することはあるか伺います。</p> <p>④「燕市子育てアプリ はぐはぐ」や、今年度10月に導入予定の電子母子手帳アプリと、「にいがたりトルベビーハンドブック」との連動はあるか伺います。</p> <p>⑤低出生体重児(リトルベビー)を出産したお母さんや、そのご家族のために、今後市で取り組みなどあるか伺います。</p>
		2. 燕市DX推進計画について	(1) 情報格差(デジタル・デバイド)について	<p>①燕市では今年度、「燕市DX推進計画」が発表されました。行政手続きのオンライン化をはじめとする自治体DXをさらに進め、これまで以上に市民サービスの向上、業務効率化を図っていくとのことだが、計画にもある通り、DX化を進める上で生じる市民の情報格差が懸念すべき点である。</p> <p>そこで、現状市において、情報格差がどのような状況であるかの把握があるか伺います。</p> <p>②情報格差の解消のため、今後市はどのような取り組みを考えているか伺います。</p>
		(2) 行政のDX化によるトラブルの対応について	<p>①今年度に入り、コンビニ証明書交付サービスでの誤発行や、マイナ保険証、マイナンバーと公金受取口座などで、別人の情報が紐付けされていたりと、トラブルの報道がありました。</p> <p>現状市でもそのようなトラブルがあったかどうか伺います。</p>	

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	藤井 秀人 (一問一答方式)	1. 「団塊の世代」が全て後期高齢者を迎える2025年問題について	(1) 地域包括ケアシステムについて	<p>①地域包括ケアシステムの構築の進捗は。また残された課題の認識を伺う。</p> <p>②介護施設の整備は十分なのか。入所待ちの状況はまだ続いているのか。</p> <p>③認知症対策は十分進んでいるのか。</p> <p>④市内の平均寿命、健康寿命レベルは全国、県内に比較して、どの程度にあるのか。</p> <p>⑤介護認定率はどれ位か。</p> <p>⑥後期高齢者の単身世帯数はどれ位あり、どのような増加傾向にあるのか。</p> <p>⑦単身世帯の生活支援をしなければいけない問題の認識は把握されているのか。</p>
		2. 最近の異常気象の対応について	(1) 地球温暖化の影響で異常気象が多く発生しているが、行事イベントの影響について	<p>①さくらマラソン、おいらん道中の開催時期の見直しは考えていないのか。</p> <p>②学校行事等、屋外での行事の見直しについて考えはあるのか。</p>
5	齋藤 和也 (一問一答方式)	1. 男女共同参画について	(1) つばめ子育て応援企業について	<p>燕市は従業員に対する子育て支援の取り組みを積極的に進めている企業に対して「つばめ子育て応援企業」を認定しています。</p> <p>以下の内容について伺う。</p> <p>①目標値と参画されている企業数を伺う。</p> <p>②この制度をきっかけに入社した人、入社を検討した人などどのような影響があったのか、市としてどのようにサポートをしているのか。</p> <p>③つばめ子育て応援企業に参画されている企業について地元の小中学生、高校生、大学生、専門学生にPRすることがとても重要なことだと思うが、児童や学生たちに参画されている企業を知る機会は準備されているのか。教育現場と連携は図れているのか。</p>
		2. 公共施設等総合管理計画について	(1) 燕市建物系公共施設保有量適正化計画について	<p>平成27年3月に策定した「燕市公共施設等総合管理計画基本方針」に基づき、中長期的視点に立って、建物系公共施設の保有総量の適正化に向けた取り組み方針をまとめた燕市建物系公共施設保有量適正化計画を作成したが、今年度が中期に差し掛かる。</p> <p>①進捗状況や現状の取り組みについて伺う。</p> <p>②住民からどのように意見を取り入れるのか、どのような説明しているのかについて伺う。</p> <p>③今後の取り組みや展望について伺う。</p>

発言 の 順序	発言 する 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
6	小林 由明 (一問一 答方式)	1. 持続可能 都市の実現 について	(1) 都市形成 と弥彦線、越 後線の今後 について	<p>①都市の持続性を高めるために、都市のコンパクト化と人口密度の維持向上は必要であり、ゼロカーボンシティの実現や、健康増進による医療費削減、新幹線高速道路など都市間交通の整備によって生じるとされるストロー現象対策なども含め、それらに果たす弥彦線越後線の役割やその重要性は極めて大きい。</p> <p>弥彦線は、新幹線燕三条駅から市内中心部を通り弥彦駅をつなぎ、全国と当地との重要なアクセス手段であり、また、信越線越後線をつなぐことから通学通勤通院などに必要とされている。</p> <p>越後線は通学通勤通院などに必要で、さらには、原発有事の際の有力な避難手段となりえ、市民の移動を守るとともに安全安心を守っている。</p> <p>また両線は、都市の骨格を成し沿線には市街地が形成されている。</p> <p>駅は大変多くの人が集まったことから、その周辺地域には水道下水道、園や学校、道路、病院、金融機関など重要な施設が重点的に整備され高い都市機能を持っており、都市の核となっている。</p> <p>両線は都市の装置として、また、都市の骨格として、燕市に欠かせないまちづくりのヨリドコロとなる極めて重要な存在である。</p> <p>一方で、弥彦線、越後線（吉田分水間）の運行本数は少なく、全国的な傾向ではあるが駅の無人化、構外トイレの閉鎖、乗降口が限定されるワンマン運転化も進んでおり、その利便性は低下の一途を辿っている。</p> <p>これまで両線は都市の骨格としてそして装置として、燕市の都市形成と市民生活を支えてきたが、都市の郊外化などとともにもその機能を低下させている。</p> <p>市街地外縁部では開発が続いているものの、これ以上市街地中心部の衰退とともに弥彦線越後線の機能が失われることを許すことになれば、それはまるで、都市を使い捨てにするようなものである。</p> <p>そのようなまちづくりではふるさとへの愛着は育まれず、歴史を刻み続け、夢や希望を描ける未来ある都市を築くことは不可能で、都市は持続できない。</p> <p>こうした状況下、持続可能な都市とするために、分水・吉田・燕各駅周辺を生活拠点と定め、居住・都市機能を集積しようと様々な取り組みを進めることは当然で、弥彦線、越後線の都市の骨格、装置としての機能が今後も維持され向上することは、燕市の持続可能性を高めるために極めて重要な要素であると考えている。</p> <p>市は、弥彦線越後線の持つ役割や必要性をどう考え、現状をどう受け止め、両線の今後の状況をどう見ていて、燕市が依って立つ極めて重要なこの両線をどう守り活かして行こうと考えているのか伺いたい。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
6	小林 由明 (一問一 答方式)	1. 持続可能 都市の実現 について	(1) 都市形成 と弥彦線、越 後線の今後 について	<p>②人口減少社会の中で、鉄道事業者と沿線の地域がローカル鉄道のおかれた現状について、危機意識を共有し相互に協力・協働しながら、いかにして利便性・持続性の高い、地域の移動の足を再構築していくかという議論をおこなうことは、市の様々な会議体と同様にまちづくりに必要なことであると考えているが、市はどのように考えているか。</p> <p>③進む人口減少社会にあって、廃線も否定できない弥彦線について、さらに不便性が増してから対策を講じるのではなく、弥彦線BRT化など新しい交通システム導入によってもたらされる効果や、そもそも鉄道事業者とどのような共同事業ができるかなどについて、調査研究をおこなう必要があるのではないか。</p> <p>④吉田南小学校周辺は、新印西部青果市場の移転や宅地造成など開発が続いており、今後は116号バイパスの開通も控えさらなる都市の発展が見込まれる地域である。</p> <p>そもそも北吉田駅から粟生津駅周辺地域は、定住自立圏を形成する弥彦燕の地理的重心であり、住宅や商業施設、市役所、学校などの居住・都市機能が集積し都市のコンパクト化が実現しているといえ、今後も弥彦燕の核となる重要な地域であることから、開発の続く今こそ利便性の高い都市基盤を整備する必要があると考えている。</p> <p>吉田南小学校間近に越後線停車駅を誘致できないか伺いたい。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	渡邊 雄三 (一問一答方式)	1. 熱中症対策の推進について	(1) 熱中症から地域住民の生命を守るための取り組みの推進について	①熱中症は適切な予防や対処が実施されれば、死亡や重症化を防ぐことができます。ここで、熱中症は人の命に関わることであることから、熱中症対応マニュアル等の作成やWBGT(暑さ指数)の認知度向上や行動変容に繋がる情報発信も必要かと考えるが、見解を伺います。
			(2) 高齢者の熱中症に対する予防への意識を醸成するための取り組みについて	①高齢者の皆さまへの効果的な熱中症予防を進めるために、地域包括や地域保健部門、民生委員等、関係者と連携し、どのような取り組みを進めているのかお伺いします。
			(3) 高齢者世帯等のエアコンの整備や点検を促す取り組みについて	①いざ高温になった時、エアコンを入れても動かないとか、エアコンのフィルターが汚れていて部屋が冷えないとか、エアコンのトラブルが、命に及ぶ危険性もあります。熱中症による緊急搬送者における発生場所の7割が屋内となっています。熱中症の予防のためには、クーリングシェルターの整備に合わせて、外出が難しい高齢者世帯等のエアコンの点検や整備の推進も必要であると思います。そこでエアコンの整備や点検の推進に向け積極的な勧奨も必要かと思いますが見解をお伺いいたします。
			(4) エアコン利用控えについて	①電気料金が高騰するなかで、エアコンの利用を控えたりする方も少なくないと思います。特に熱中症弱者と呼ばれる高齢者の皆様は、節約への意識が高い方も多いと思います。ここで、熱中症特別警戒情報が発令された時に、躊躇なくエアコンのスイッチを活用できる環境整備も必要と思いますが、電気代の高騰への対応も含めて、低所得者に対して、適切な支援が必要と考えますが見解をお伺いいたします。
		2. 環境整備について	(1) 公共下水側溝の清掃について	①公共下水の清掃を毎年度末に行っているが、この清掃は市民の義務であると条例等で明記されているのか伺います。 ②高齢化、核家族化、単身世帯がますます増加する中で、市民から側溝の清掃が大変であるとの意見は行政に寄せられているのか伺います。 ③意見が寄せられていたのであればこれまでどのように対応されてきたのか伺います。 ④蓋を軽い金属製のグレーチングに変えようとしても非常に価格が高く、低所得者・年金暮らしの高齢者にはなかなか対応できないが、行政として補助金等、必要としている高齢者に対して仕組みづくりはできないのか伺います。 (次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	渡邊 雄三 (一問一答方式)	3. 自転車損害賠償等保険・ヘルメット着用の義務化について	(1) 児童生徒対応について	<p>①新潟県は令和4年4月に自転車損害賠償等保険、令和5年4月にヘルメット着用の義務化をしたが、どのように捉えているのか伺います。</p> <p>②自転車損害賠償等保険が義務化されてから約8ヶ月が経過したが、保険加入への勧奨をしてきたのか伺います。</p> <p>③児童・生徒の保険への加入・ヘルメット状況を把握しているのか伺います。</p> <p>④今後、児童生徒の安全確保のために教育委員会としてどのように対応して行くのか伺います。</p>
8	田澤 信行 (一問一答方式)	1. (仮称) 吉田南地区開発事業について	<p>(1) 新印青果西部卸売市場の移転に伴う通学路の安全確保と防災拠点の機能、及びスワロー号の停留所について</p> <p>(2) 近隣施設を含めた同地域でのにぎわいについて</p>	<p>7月にリニューアルオープンを予定している新印青果西部卸売市場について、計画当初から子供たちの通学路に対する危険性を不安視する声があり、その対応策として歩道の拡幅工事や通学時間帯の出入り規制や見守り隊としての人員配置を設けるなどの説明がありましたが、住民説明会で説明した通りの工事が遂行できたのかを確認いたします。</p> <p>①歩道の拡幅工事は計画通り進んだのか、また変更があったのか伺います。</p> <p>②同施設を燕市の防災拠点として位置付け、災害時の食料品の供給などより迅速な救援活動などを担ってほしいとの狙いもあったと思いますが、具体的にどのような契約を結び災害時に備えるのか伺います。</p> <p>③スワロー号のバス停新設を提案したが、バス停は新設するのか伺います。</p> <p>同地区にはドラッグストアが新設され、また「ネクストジェネレーションタウン」と称してコンテナハウス型の店舗展開を図り複合商業施設としてにぎわいある空間を作ろうと取り組んでいます。 装飾を含めて非常に興味深い空間になるのではないかと期待しています。</p> <p>①「ネクストジェネレーションタウン」では飲食も可能になるということで休日は市内外から多くのお客様が集まると思いますが、トイレ使用など他の施設(市場、コンビニ、ドラッグストアなど)と連携は取れているのか伺います。</p> <p>②同地区は道路を挟んだ反対側にもコンビニと信用組合の新店オープン、更にはその奥に新たな商業用地も予定しています。燕市としても同地区を新たなにぎわい地区として位置付け大いにPRすべきと思いますが、如何お考えか伺います。 また、エリアの名称も検討した方が良いと思いますが、如何でしょうか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
8	田澤 信行 (一問一答方式)	2. シェアオフィス開設支援事業について	(1)シェアオフィスの稼働状況について (2)サテライトオフィスの今後の展開について	<p>首都圏から地方への進出企業を誘致し、新たな産業の開拓と人の流れを創出するために令和3年度から「イノベーション拠点整備支援事業」をスタートさせ、令和3年度及び4年度ともに予定通りの3社、計6社が創業していますが、本事業については開業後5年間の決算状況等を報告することが義務化されていると聞いていたので開業後の状況について伺います。</p> <p>①令和3年度に整備されたシェアオフィスの稼働状況(レンタル状況)と収支実績並びに令和5年度の収支見込みを伺います。</p> <p>②シェアオフィスへの入居者の所在地(県外、県内)の構成比について伺います。また、入居者で県外・市外から燕市内に移住した人がいるのか伺います。</p> <p>①サテライトオフィス等進出支援補助金としての実績があったのか伺います。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に引き下げられ経済活動も徐々に戻りつつあると思いますが、燕市のサテライトオフィス関連の支援事業についての今後の展開について伺います。</p>
9	長井 由喜雄 (一問一答方式)	1. 正規職員及び会計年度任用職員について	(1)市役所における適正な正規職員数について	<p>①今年度「こども政策部」が新設されたことにより、燕市では1部1課が増えた。 総務省の令和2年度の地方公共団体定員管理調査、会計年度任用職員等実態調査の県内自治体のそれぞれの比較を見ると、燕市は正規職員数が47.4%と2番目に低い率となっている。この数字をどう見ているのか。 適正な正規職員数についてどう考えているのか伺う。</p> <p>②正規職員の年休取得状況について、昨年度の例から、年間取得率が40%程度、さらに平均取得日数が5日を割っている課又は施設はどこか。 その理由をどう考えているのか伺う。</p> <p>③正規職員率が低く、課長補佐以上の管理職が一定数占める中で、保育を除く分野において新採用をはじめ、若手職員が育つ環境は合併前や合併直後などと比べてどうなのか伺う。 現状は若手が十分育つ環境にあるのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
9	長井 由喜雄 (一問 一答 方式)	1. 正規職員 及び会計年 度任用職員 について	(2) 会計年度 任用職員制 度と燕市に おける任用 の現状につ いて	<p>①今年(2019)の4月26日に短時間会計年度任用職員に「勤勉手当」を支給可能とする地方自治法の改正案が成立した。燕市における勤勉手当支給についてはどう考えているのか伺う。</p> <p>また、審議された国会において、参議院では附帯決議の中で「当該手当支給による給与増額分を月例給又は期末手当より減額することがないように」求めている。燕市はどのように対応するのか伺う。</p> <p>②燕市における会計年度任用職員の諸条件は、任用制度移行時に多くを「国に準ずる」としたが故に現状では大きく後退したものとなっている。</p> <p>まずは職種、資格等による時間給の差が著しいのではないかと思う。</p> <p>解消にむけた検討が必要と思うがいかがか。</p> <p>また、そもそも年収が著しく低く200万円を割る人が半数以上いるのではないか。さらに女性の比率が圧倒的に高い。</p> <p>ジェンダー平等の観点からも大きな問題を持っていると考えるがいかがか。</p> <p>③休暇制度について、燕市の制度では「保育時間」「子の看護休暇」「短期介護」「介護休暇」「介護時間」「生理日の就業困難」「妊産疾病」「公務上の傷病」「私傷病」「骨髄移植」について「無給」とされたままだが、有給に向けた改善が必要と考えるがいかがか。</p> <p>④他の自治体と比べた時、会計年度任用職員の比率が令和2年度における資料で比べても2番目に多いが、このことをどう考えているか。</p> <p>⑤燕市の会計年度任用職員制度は経験年数による昇給はない。</p> <p>「1年ごとの採用」「5年を超えたら再度試験を受ける」とされ、使い捨て状態だ。</p> <p>昇給を加味した給与体型とするべきと考えるがいかがか。</p> <p>⑥学校関連の職種である学校介助員、英語指導員助手、学校管理員、学習支援員、適応指導教室等指導員は、学校が夏休み、冬休みだとしてこの間は勤務日としていないが、研修やその他準備作業に当てるなど年間での雇用を原則とするべきではないのか。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	長井由喜雄(一問一答方式)	2. 命を守るための心臓震盪の防止とAEDについて	(1) 子供たちの命を守るためにも胸部保護パットの使用を	<p>① 福岡県太宰府市の太宰府高校の野球部の男子生徒が、5月3日の練習試合で胸にピッチャーライナーを受けて亡くなった。 日本高野連は「非常に痛ましい事故。防げる事故と防げない事故があるが、今回がどうだったのか、報告を待って再発防止策を考えたい」としている。 この事故は心臓震盪によるものであり、胸部保護パットなどを使用していたら助かったと考えられる。 平成24年と平成28年の12月議会で胸部保護パットを中学野球部を中心に使用することを求めたが、その後の経過と現状について伺う。</p> <p>② 学校部活や対外試合などではAEDの携行はされているのか伺う。</p>
			(2) 燕市の公共施設におけるAED設置状況と設置数を増やすことについて	<p>① AEDの使用にあたっては取りに行くのに1分、戻ってくるのに1分、使用に1分と3分という時間が大事であることが言われている。 現在の設置状況を見るとこれで十分であるとは思えず、施設ごとの台数を増やしていくことが求められる時期に来ていると認識している。 市内施設の設置台数と必要な台数についての考えを伺う。またこれまでに使用された事例についても伺う。</p> <p>② 冬季間閉鎖などにより、設置されているAEDが使用不可能となっている例はあるか。また、施設閉館後で地域住民などの使用の要望に応えられない施設数及び台数はどうか伺う。</p> <p>③ 各施設で設置場所から一番遠いところで必要となった場合、使用までどれくらいの時間がかかるかの検証はしているか伺う。</p> <p>④ 設置されている市内施設では、夜間、土日などで市民などが施設利用する場合、AEDの利用が可能である場所に置かれているのか。課題はないのか伺う。</p>
		3. 児童クラブにおけるおやつについて	(1) コロナの5類移行を受けての対応について	<p>① 昨年及び今年度は、コロナ感染拡大を防ぐ策としておやつ提供を中止したと理解している。 コロナは5類へと移行したことによって中止としてきた条件が変わった。 夏季休業を前にして利用者の拡大等も考えた時、家庭に代わる保育を提供する施設であることから、おやつ提供を再開することが大事だと考えるがいかがか。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	小林秋光(一問一答方式)	1. 通学路の安全確保について	(1) 通学路の安全対策について	<p>① 令和3年6月の千葉県での下校中の児童の列にトラックが衝突し5名が死傷するなど、通学路における痛ましい事故が後をたちません。 令和3年7月に国土交通省、文部科学省、警察庁が連携し、通学路における交通安全を一層確保する取り組みとして合同点検実施の指示が有りました。 この合同点検の指示を受け燕市で、実施された取り組みや通学路における点検箇所を伺います。</p> <p>② 令和3年12月に開催された第3回交通安全対策に関する関係閣僚会議においては令和5年度末までに概ねの対策を完了することとされています。 この閣僚会議で示された安全対策の燕市の実施状況について具体的な取り組みや進捗状況をお伺いします。</p> <p>③ 令和4年10月1日から自転車損害賠償責任保険への加入が義務化されました。 保険加入の啓発活動など燕市が行っている具体的な取り組みについて伺います。</p> <p>④ 改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されました。 学校ではどのような指導がなされているのか伺います。</p>
			(2) 通学路における問題点について	<p>① 通学路における空き家等の撤去が必要な箇所を燕市は把握しているのか伺います。</p> <p>② 通学路の歩道や道路の修繕・補修が必要な箇所はどの程度把握されているのか伺います。</p>
			(3) 通学路の防犯対策について	<p>① 通学路の防犯対策として燕市はどのような取り組みをされているのか伺います。</p> <p>② 防犯情報として警察署や自治体から提供される情報を保護者や地域ボランティアとどのような共有をしているのか伺います。</p>
11	土田昇(一問一答方式)	1. 燕市の人口減少対策について	(1) 燕市の過去3年間の転入と転出について	<p>① 1月31日の新聞報道によれば、新潟県は2022年で転入が2万2,796人で、転出が2万8,626人で5,830人の転出超過で超過数は全国で4番目に多く前年と同じ順位だったと報道されましたが、燕市の過去3年間の転入者と転出者の数を伺う。</p> <p>② 燕市も過去数年間「少子化対策」で苦勞してきたが、その原因と今後の対策等々について、どのように考え行動していくのか計画があったら伺う。 (空き家と公営住宅の利用も考えては)</p> <p>③ 最低賃金の都道府県の区分も発表されているが、新潟県は890円で全国平均の961円より低いと報道されているが、燕市としても今後全国平均に同額か、それに近い金額を示していくべきと考えるがその点について伺う。</p>

発言 の 順序	発言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
11	土田 昇 (一問一 答方式)	2. 学校給食 の無償化に ついて	(1) 県内の状況 について	<p>①現在教育費の負担軽減が子育て世代の強い要望、要求になってきていると思います。 その原因として非正規雇用と派遣やアルバイトで低賃金が増えてきているのが原因だとも思っています。 岸田政権も「異次元の少子化対策」を掲げていますが、その内容が全然見えてきません。 そのような状況の中で「給食費の無償化」が現実的な問題として全国的に大きな広がりになってきていると思います。 最近の新聞報道で燕市と新潟運輸(株)とで「地方創生に関する包括連携協定」が締結されたと報道されました。 その内容は4トン車に「子育てするなら燕市で」と描かれています。 その一環として給食費の無償化も実現していくべきと思いますが、市長の認識について伺う。</p>
		3. 指定管理 者の導入施 設について	(1) 燕市スポー ツ協会とミ ズノグルー プの職員数 について	<p>①燕市スポーツ協会とミズノグループが指定管理者として管理している市の施設は25施設と承知しているが、2019年の4月1日から1年間の利用者数と2022年の利用者数について、以下の8施設とその内容について伺う。 (1) 燕市体育センター (2) 吉田総合体育館 (3) 分水総合体育館 (4) スポーツランド燕 (5) サンスポーツランド分水 (6) 燕市四箇村ふれあい館 (7) 燕市B&G海洋センター (8) 燕市吉田トレーニングセンター (再開後の入場者数と問題点について)</p>
		4. 道の駅国 上の米の販 売について	(1) 市外の米が 多いこと について	<p>①5月19日の産業建設常任委員会の市内視察で道の駅国上に行って、米の販売で地元産(燕市)の米が少ないように感じたが、それには理由があると思うがその点について伺う。 ②道の駅国上に野菜等々の持ち込みを契約している農家数と市外の契約者数も伺う。</p>
12	稲村 隆行 (一問一 答方式)	1. 新型コロナ ワクチン 接種につ いて	(1) 新型コロナ ワクチン接 種のリスク に関して	<p>①5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行された。新型コロナワクチンはインフルエンザワクチンと比較して10倍以上の健康被害のリスクがあることがわかってきており、新型コロナワクチン接種後の健康被害報告が増える中で集団接種や定期接種が始まろうとしているが、市として新型コロナワクチン接種のリスクをどのように考えているかお伺いします。 ②①のようなリスクに関する情報提供の必要性を市としてどのように考えているかお伺いします。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
12	稲村 隆行 (一問一答方式)	2. 燕三条駅のみどりの窓口について	(1) 燕三条駅のみどりの窓口閉鎖に関して	<p>①今年度の3月1日から燕三条駅のみどりの窓口が閉鎖されたが、市民から操作がわからず新幹線に乗り遅れた等、不満の声があがっている。市として状況を把握されているかお伺いします。</p> <p>②いきなり閉鎖とするのではなく、市民が新しいシステムに慣れるまで、移行期間を設ける等、対応策を要望する声があがっているが市の考えをお伺いします。</p>
13	佐野 大輔 (一問一答方式)	1. 観光政策について	(1) 今年度の分水おいらん道中について	<p>「分水おいらん道中」は分水地区を代表するイベントであると同時に市外や県外から燕市に多くの方を迎え入れることのできる燕市を代表するイベントであり、歴史も古くもうすぐ80回を迎える。今年度は雨のために屋内開催になり、ここ数年間のうちでもなかなか屋外での開催が非常に難しい天候状況になっている。</p> <p>さらに、今年度は屋外開催であったとしても、これまでの地藏堂本町通りでの道中は開催されない予定となっており、地元からは今後の「分水おいらん道中」の継続に不安の声が上がっており、かつ、地元の方々にその情報がなかなか行き届いていなかった現状もある。</p> <p>①なぜ地藏堂本町通りでの開催を予定していなかったのか伺う。</p> <p>②地元への周知についてはどのように図ったのか、また周知は十分だったのか伺う。</p>
			(2) 分水おいらん道中の今後について	<p>①今後は大河津分水桜並木だけでなく、従来行っていた地藏堂本町通りでの開催を行っていくのか伺う。</p> <p>②県内の観光地や旅館などの宿泊先との連携の取り組みや燕市観光協会との連携について伺う。</p> <p>③今年度も雨のため、屋内開催となったが、屋外時よりも大幅に来客数は減り、また雨でのリスクを考慮して観光バスの運行も計画しづらくなっている現状がある。雨天時の開催については、衣装の関係で厳しいことは理解しているが、雨天時に移行しても観客が満足できるコンテンツ作りを進める必要があると感じるがいかがか伺う。</p> <p>④おいらん道中のやり方をこれまでの形にとらわれない提案を受け入れる方法として広く市民からの意見やアイデアの活用を検討をはいかがか伺う。</p>
		2. 道の駅国上について	(1) 駐車場のさらなる確保について	<p>道の駅国上では、リニューアル以降、来客数の増加が顕著であり、イベント時などは駐車場が満車になり、周辺の道路に路駐していただいている状況である。そのような中で6月にRVパークやオートキャンプ場が整備され、さらなる誘客につながると考える。</p> <p>①現状の駐車台数でも足りない状況を考慮すると砂利駐車場以外も早急に駐車場の拡張が必要ではないかと考えるがいかがか。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
13	佐野大輔 (一問一答方式)	3. 熱中症対策について	(1) 避暑シェルター(クーリングシェルター)の設置について	<p>①気象庁から2023年5月23日に発表された3ヶ月予報は6月から8月の平均気温は平年並みか高い見込みが出ている。</p> <p>近年の夏の気温は非常に高く真夏日を超えて猛暑日の日も多く出ている。</p> <p>そのことで一番リスクが高まるのが、子供や高齢者の方々の熱中症であり、市民の方々が真夏の猛暑の中でも健康に安全に過ごすために、広く公共施設を開放し、涼しい環境の中で高齢者や子供たちが過ごすことができるようにするための避暑シェルターの取り組みを検討してはいかがか伺う。</p>
14	岡山秀義 (一問一答方式)	1. 休日の部活動の地域移行について	(1) 燕市における休日の部活動の段階的な地域移行について	<p>令和2年に文部科学省等は、「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」を示し、令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域に移行していくこととした。教員の多忙化を背景に、心身の不調を訴える教員が増加するなど、今後、質の高い教育の維持が困難な状況となることが懸念されている。そのような中で、休日の部活動指導に負担を感じる教員も多くなっているのが現状である。</p> <p>公立学校教員には残業手当が支給されないため、教員は少額の手当てのみで休日の部活動を指導している実態がある。このように、現在の部活動は、大部分を教員のボランティア的な取り組みによって支えられている現状がある。</p> <p>このような状況で現在の形での部活動を維持することには限界があり、今後は持続可能な形に切り替えていく必要がある。</p> <p>一方で生徒や保護者の視点では、部活動には様々なニーズがある。</p> <p>全国大会を目指して高度に競技力向上を目指す勝利至上主義の生徒もいれば、体力を身につけることや、仲間と楽しい時間を過ごすことを目的とする生徒もいる。しかしながら現在の部活動の現状として専門的な指導が可能な顧問が必ずしも各学校に配置されていないこと、生徒数の減少により単独校でチームが組めない場合が増えていること、楽しく活動をしたい、学習も頑張りたいと思っても、休日の活動時間が長いことで叶えられない場合もあるなど、個々のニーズに必ずしも応えることができていない状況がある。</p> <p>多くの課題が山積する中、燕市教育委員会は県内でも先駆けて「つばくろいきいきスポーツクラブ」を立ち上げ、地域移行に繋がる活動を苦勞しながらおこなってきた。国・県の方針が決まった今、休日の部活動の地域移行をどのように活動し、どこを目指していくのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
14	岡山 秀義 (一問一答方式)	1. 休日の部活動の地域移行について	(1) 燕市における休日の部活動の段階的な地域移行について	<p>① 休日の部活動の段階的な地域移行 令和5年度一部のスポーツ・文化活動で実施(月1回程度) 令和6年度対象のスポーツ・文化活動の拡大(回数の拡大) 令和7年度すべてのスポーツ・文化活動で実施(回数の更なる拡大) 令和8年度以降すべてのスポーツ・文化活動で実施(原則すべての休日で実施)を目標としているが、本年度の進捗状況と予算について伺う。</p> <p>② 子供たちの視点で、進学予定の学校にやりたい部活がない・やりたい部活はあるけど自分のニーズと合わない・部活動の中でも目指すところが違う・休日は勉強や身体を休めたいなど、子供たちの声にどのように対応していくのか伺う。</p> <p>③ 先生の視点で、指導を希望しない先生が60%以上・勤務時間外の活動で長時間労働をしている・自分が教えることができない部活の顧問になる・部活動加入率は68%、全員がかかわる教育活動を大切にしたいなど、先生の声にどのように対応していくのか伺う。</p> <p>④ 部活動指導員・外部指導者をどのように確保し、どのように研修していくのか、指導者資格の有無、報酬について伺う。</p> <p>⑤ 燕市スポーツ協会との連携はとても重要と考えるが各団体の活動状況や委託等予定について伺う。</p> <p>⑥ 休日の部活動の地域移行について、子供や保護者への説明についてどのようにおこなうのか伺う。</p> <p>⑦ これまでの学校部活動は学校教育の一環として無償で提供されてきたが、地域移行後は学校の活動ではなくなるため、指導者の報酬・保険料・会場使用料・用具などについては受益者負担となる。 受益者負担が発生することによって運動機会を奪われる子供が出てくることは防がなければいけない。 財政支援などの検討について伺う。</p> <p>⑧ 難しい課題が山積するが「つばめいきいきスポーツクラブ」のように、燕市ならではの地域移行を少しずつ丁寧に形作っていくべきと考える。 一番は子供たちのスポーツ・文化活動の場をしっかりと整えてあげること。それには教育委員会を先頭に部活動の在り方委員会・スポーツ分科会・スポーツ協会・先生・保護者・子供・関係団体全体で情報を共有し最終的につばめはひとつ「チームつばめ」となっていくべきと考えるが認識を伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
15	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 自転車乗車における安全性について	(1) 選挙時における自転車街宣について	<p>2023年4月1日、改正道路交通法が施行され、自転車乗車時のヘルメット着用が全年齢で努力義務の対象になりました。</p> <p>去年までの5年間に発生した自転車乗車中の事故で亡くなった2,005人のうち、55%にあたる1,116人は頭部に致命傷を負っていて、うち96%はヘルメットを着用していなかったとのことである。</p> <p>選挙時に自転車街宣を行う候補者も見られるが、これもヘルメット着用ということになる。</p> <p>そもそも、ヘルメットの問題でなく、自転車街宣は片手運転やわき見運転など、危険運転行為である。</p> <p>①自転車街宣について、選管はどう考えているのか伺う。</p> <p>②この自転車街宣は、本人はもとより歩行者にとっても危険である。</p> <p>市の条例で、自転車街宣を禁止することはできないか伺う。</p>
		2. カンカンBOOK事業・福服BOOK事業について	(1) 絵本の選定について	<p>協力事業者からの空き缶や市民の皆さんから寄附いただく古着の売却益で、市内保育園等の絵本を購入している。</p> <p>①絵本の選定については、各保育園から要望があって購入しているのか伺います。</p>
			(2) 絵本のトレードについて	<p>①私たちがそうだが本を購入しても読まなくて本棚の場所ふさぎになっている本も多い。</p> <p>絵本にしてもそうではないだろうか？</p> <p>園児がすごく気に入る絵本もあれば、そうでない絵本もきっとあると思う。</p> <p>あまり喜ばなくて場所をふさいでいる絵本を各園でトレードしてはどうだろうか。</p> <p>図書館の本のように購入した年月日や保育園を記入しておく。</p> <p>それがトレードで別の保育園へ、そしてそれが次の保育園へ…旅する絵本である。</p> <p>協力していただいている事業者や市民の皆さんからも喜んでもらえるのではないか伺う。</p>
		3. てまりの湯について	(1) 入館料の変更について	<p>利用者から、混雑解消のため、また、午後5時から午後9時の入浴料が公衆浴場の入浴料以下であり、値上げを希望する声がある。</p> <p>①てまりの湯周辺には公衆浴場が1軒もなく影響を及ぼしている理由にならないと思うが伺う。</p> <p>②公衆浴場の入浴料が300円を超えたのはいつか伺う。</p> <p>③この理由で値上げした場合、今後公衆浴場入浴料が値上げしたら、てまりの湯も値上げすることになるか伺う。</p> <p>④午後5時から午後9時の利用者は地域の人で常連さんが多いのではないか伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
15	タナカ・キン (一問一答方式)	3. てまりの湯について	(2) 施設規模について	<p>入館者数が施設規模を超えて混雑しているとのことである。</p> <p>①多くの利用者により苦情をいただいていると聞いているが、その内容について伺う。</p> <p>②市の考える施設規模に対する適切な入館者数を伺う。</p> <p>③コロナ前の入館者数について伺う。</p> <p>④1時間あたりの人数について伺う。</p> <p>⑤指定管理者が変わって、道の駅全体が活気づいて、お客さんが増加している。</p> <p>コロナが2類から5類になったことで、今後てまりの湯の入館者も増加するのは必至である。</p> <p>さらなる混雑が予想される。このゴールデンウィーク中(4月29日から5月7日)の入館者数を伺う。</p> <p>⑥一番多かった日と人数を伺う。</p> <p>⑦今後、新分水良寛史料館等も道の駅周辺に予定されている。道の駅全体の観光客が増加するのは間違いない。てまりの湯の施設そのものを見直す必要があるのではないかと考えるが、伺う。</p>
16	田中 淑子 (一問一答方式)	1. 空き家・空き店舗について	(1) インスタグラムの活用について	<p>①4年程前、吉田商工会のアンケートで、“自分の代で商売をやめるつもり”と回答された事業所が4割もありました。これはもはや不安ではなく恐怖です。</p> <p>市もインスタグラムを活用していますが、燕・吉田・分水地区でそれぞれ何件くらい有り、インスタの成果も含めて対策を伺います。</p>
		2. 結婚率低迷について	(1) 婚活情報について	<p>①妊娠、出産、子ども手当、育休手当、中小企業支援など幅広く充実させており、その上、新潟市、三条市は産後ケア事業もスタートさせるようで、国も2024年には全国をめざすようです。</p> <p>これだけの支援があっても、結婚までつながらない男女が多くいらっしゃいます。</p> <p>市もインスタで婚活情報を載せていますが、年間の実施回数とその成果を伺います。</p>
		3. フェニックスクーポンについて	(1) 加盟店募集について	<p>①毎回何店舗の応募があるのか伺います。</p> <p>以前は広報に入っていましたが、なぜ郵送になったか、また郵送料はいくらかかるのか伺います。</p>
			(2) 事業所への換金について	<p>①なぜ、月末締め翌月末にしか換金できないのか伺います。</p>